

4 学校関係者評価

【学校経営】

- ・地域にとっても、あらためて河高の存在を感じることでできる1年間の取り組みだったと思います。勤務された先生方にとっても、良い資質の取得になったものと思います。(山下)
- ・英検に取り組むなど、キャリアアップに取り組んでいた。崎津ボランティアなど、地域振興にも積極的に取り組んでいた。体育祭・文化祭と地域と共に取り組んだ姿が見られた。(菅原)
- ・交通安全、事故防止への意識の向上により、事故、違反者ゼロの成果が得られたことはとても喜ばしく、落ち着いた環境で保護者、地域の方々の協力を得て、様々な学校行事を成功に結びつけた生徒の努力と先生方の日々の熱心なご指導により、すばらしい学校づくりが出来たと思います。(竹内)
- ・危機管理A、職員の資質向上B、特色ある学校A、先生方の努力に感謝します。(大橋)

【学力向上・進路指導】

- ・生徒の進路も凡そ決定しているということは、しっかりと学力の定着があったからだと思います。生徒達が、卒業後の進路において、しっかりと地に足をつけて、歩き続けてくれることを祈ります。(山下)
- ・2月初めの時点で、93.5%進路が決まっている。行事と学業、進路選択、試験と大変だったと思うが、よくやってくれたと思う。(菅原)
- ・職員間での指導法研究の充実と時間割の調整でより多く個別指導ができたこと、キャリア体験活動や職場見学の呼びかけにより多くの生徒が参加したことは進路決定にも役立ったでしょう。又、「朝読」「図書館ホームルーム」などの読書活動の推進は基礎学力向上にも大いに役立ったと思います。(竹内)
- ・先生方が個々人に合わせた方法で、学力向上に向けた姿が(仕事が)よくわかった。進路達成はよかった。(大橋)

【生徒指導】

- ・学校の美しさを見れば、しっかりと指導がされていることがわかります。(山下)
- ・あいさつが素晴らしいと思う。最後の卒業生という事で自覚があり、行動に出ていると思う。(菅原)
- ・日々、時間に余裕を持って安全に登校出来た事により遅刻や整容にも配慮がなされ交通事故も防げたことは素晴らしい成果です。少人数でも学校内外で積極的に掃除、奉仕活動に参加し、地域からも感謝されています。(竹内)
- ・3項とも河高生、先生方はよくやっていると思う。(大橋)

【人権教育の推進・いじめの防止等】

- ・取組み等Aと評価したいが、自己評価がBならば、Bとしかできない。(菅原)
- ・人権意識を高める取組を様々な活動にされ、その成果が、卒業後も継続されることを期待したいです。(竹内)

【命を大切にすることを育む指導】

- ・取組み等Aと評価したいが、自己評価がBならば、Bとしかできない。(菅原)
- ・近隣の小、中学生と共に園芸作業を行ったり、郷土料理講習など食育においても、又、熊本地震ボランティアを通して命の大切さを実感したことと思います。(竹内)

【いじめの防止】

- ・生徒と保護者も河浦高校に来て良かったと思っているが、生徒の心の持ち様でも変わってくるので何とも言えないが、十分と言えないのかもしれない。(菅原)
- ・学期ごとの心のアンケート調査の実施や小さないじめも見逃さないように、先生方がよく生徒を観察しておられ、早期で解決出来たこと、未然防止に生徒同士の交流できる企画をするなどの努力が素晴らしいです。(竹内)
- ・案件はあったが、解決とあったのでよかった。(大橋)

【特別支援教育】

- ・支援の検討について昨年度の課題を克服すべく努力され（職員間で実践の手立てを共有できたことなど）専門機関との連携で、本人、保護者への支援に尽力された様です。（竹内）
- ・すべての障害について、ノーマライゼーションの考え方が、普遍的で、あたり前の世界へ。（大橋）

【特別活動・部活動】

- ・学友会・部活動とも、少ない人数ながらよくやったと思う。（菅原）
- ・学友会長を中心に生徒、職員が一丸となって保護者、地域、同窓生、メディアに協力を得て、各行事を成功に導き、その達成感はそれぞれの自信につながったと思います。少数でも部活動での活躍はめざましいものがありました。（竹内）
- ・野球部中心と書いた保護者の意見があったが、少し考えすぎかな。

5 総合評価

【本年度の教育目標について】

地域や保護者に信頼され、生徒や職員が誇りに思う学校づくりを目指す

- (1) 生徒が河浦高校に来て良かった。保護者が河浦高校にやって良かった。職員が河浦高校に勤めてよかった。地域から河浦高校があつてよかった。そう思える学校づくりを目指す。
- (2) 校訓「創造」「至誠」「勤勉」をしっかり身につけさせ、生きる力の育成と社会に貢献できる有為な人材の育成を目指す。
- (3) 生徒一人ひとりに確かな学力と夢と希望を育ませ、キャリア教育の視点に立った進路指導の充実を目指す。
- (4) 人権尊重の精神に立ち、自他の生命や人と人との絆を大切にし、一人ひとりが輝き、楽しい学校づくりを目指す。
- (5) 教職員としての資質や専門性の向上を目指す。

- (1) については、河浦高校最後の年ということもあり、地域と一緒に取組や工夫を凝らした学校行事（閉校記念体育祭・文化祭、天草下島バス研修等）を取り入れたことで保護者や地域の方々から高い評価をいただいた。
- (2) については「当たり前のことが当たり前にできる、基本的な生活習慣の確立」などの目標を掲げ取り組み、生徒の特別指導も1件もなく、全般的には評価が良かった。交通違反等もゼロであった。ボランティア活動にも積極的に参加した。
- (3) については「進路講座、進路説明会の充実、個別指導の充実」などを目標に掲げ取り組んだ。ほとんどの生徒の進路第一希望は達成できたが、数名が第二希望のほうにまわった。
- (4) については、学校行事等の場面で生徒が発表や活動をする場面を多く設定したため、生徒一人ひとりが充実した活動ができ、楽しい学校生活が送れたと思う。
- (5) 職員全員による研究授業や人権教育などの職員研修を実施することができ、一応の目標を達成できた。

【本年度の重点目標】

8つの重点目標を掲げ取り組んだ。全体的に高評価であり、おおむね目標を達成しているが、基礎学力向上（読書）と生徒指導（携帯電話使用）に関して多少改善が必要な箇所が見受けられた。

【自己評価総括表に対する評価】

評価の観点は23項目。

Aは17項目、Bは5項目（①個別指導の充実、②人権教育の充実、③命を大切にする心を育む指導、④いじめの未然防止や早期発見の取組、⑤特別支援を必要とする生徒への対応）、Cは1項目（①公開授業の充実）であった。昨年度はAが8項目だったので、今年度は飛躍的に評価が伸びた。最後の年ということで生徒・職員の頑張り、充実感、達成感が高評価につながったのではと思う。ちなみに昨年Cの（特別支援の個に応じた指導）がBになった。

【意見・感想】

- ・閉校が決まってからのここ数年の高校の取り組みは、以前にも増して素晴らしいものだったと思います。河浦高校を巣立っていく生徒が、そのことを誇りに思い大切にしてくれ

ば良いと思います。そして河高生が、社会において、世の為、人の為になる人材としておおいに活躍してくれることを願っています。（山下）

- ・生徒・保護者・先生と河浦高校に来て良かったと思ってくれた事がなによりの喜びです。そして、深く関わる事ができ幸せでした。ありがとうございました。（菅原）
- ・河高最後の一年間は多忙を極めながらも様々な学校行事進路に向けて息切れすることもなく、どの場面でもキラキラした河高生の姿が伺えました。先生方、保護者のサポートはもちろんの事、地域や同窓生の皆さんの惜しみない協力体制は河高ならではの光景だと感動を覚え、今更ながら閉校になることが残念でなりません。最後に評議員として少しでも関わらせて頂いたことを感謝いたします。ありがとうございました。（竹内）
- ・昨年も書きましたが、四方よしの目標が達成されていると思う。とてもよい目標だったと思う。自分もこの精神でいきたい。自分を振り返ると「凡事徹底」こそが一番の成長のカギだと思う。（大橋）

6 次年度への課題・改善方策

（次年度は閉校しているが）

【課題】

公開授業の充実について

今年の公開授業は、平年より1週早めて11月の第1週に実施したが、今年の参観者も10人程度であった。原因としては、平日なので保護者の参加が厳しいこと、他校から遠距離にあることなどが考えられる。

【改善方策】

開催時期の変更、土曜・日曜の開催、広報等を通じて地域・保護者に連絡し、教職員が他校へ出向いてお知らせする等の方法も考えられる。